

自分の生き方を求め 今を大切に
朝日中生を育成する

朝日中通心

生徒数 (令和元. 11. 1現在) 総数 312名
1年 113名 2年 94名 3年 105名

奄美市名瀬朝日 29番地 1
TEL 52-1195 FAX 53-5650

HP: <http://www.city.amami.kagoshima.jp/asahi-j/>



琢磨

主造律
自創規

「生徒会引き継ぎ式に寄せて」

校長 今村 典盟

朝夕めつきり寒さを感じる季節になりました。保護者の皆様には、本校教育活動に際しまして御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

先日、新生徒会役員の任命式がありました。昨年の今頃、旧生徒会の皆さんは、新しい役員になった喜びをかみしめながらも立会演説会で述べた自らの目標や決意を新たに胸に秘め、どのようにして生徒会を活性化していこうかと思索していたことと思います。大変なことたくさんあったと思います。人を動かすことや自ら先頭に立って何かを成し遂げることも難しい。きつと悩み、苦しんだことも多かったのではないのでしょうか。

しかし、その目標を達成するために日々努力し、完遂させようとする過程の中で大きな成長を遂げたのではないのでしょうか。この一年間は、役員にとって素晴らしい財産になるものと思います。一年間、本当に御苦労様、ありがとうございます。

これから新しい生徒会が動き出します。たくさんの生徒を乗せて新朝日丸が船出しますが、これからの航海は、順風満帆に行かないかも知れません。その時は、会長（船長）をリーダーに、困難を克服しながら、一心不乱に進んでみてください。みんなが力を合わせればきつと目標を達成することができますでしょう。朝日中学校を良くするも悪くするもみんなの行動次第です。そして、そういう力を持っていることと確信しています。新しい生徒会役員を中心にみんなで新しい朝日中学校を作りましょう。きつとできるはずですよ。みんなの大きな力に期待しています。

十一月一日（金）には、学習発表会が開催されました。劇では、一年生は、「太平洋の潮の音」、二年生は、「戦争を知らない子どもたち」、今回が最後となる三年生は、伊藤左千夫さんの小説「野菊の墓 in asahi 2019」を演じました。短い練習期間ではありましたが、どの劇も生徒たちの迫真の演技に観衆が息をのみ、劇の中に引き込まれていくようでした。特に三年生は、十五歳の少年と二歳年上の従姉との淡い恋心を描いた物語を演じました。さすが三年生というすばらしい演技で観衆を魅了しました。そして、三年一組の合唱では、見事なハーモニーを見せてくれ、学級の絆の大きさを感ずることができました。また、十一月十三日（水）に行われた奄美市音楽発表会においても素晴らしい歌声を聞かせてくれました。全てにおいて日頃の学習の成果が発揮されており、感銘を受けました。

今後とも保護者、地域の皆様の温かい御支援・御協力をお願いします。

十二月四日から十日は、人権週間

昭和二十四年以来、「人権デー」を最終日とする一週間を「人権週間」として設定されています。人権デーとは、世界人権宣言が国連総会で採択されたことを記念して国際連合により定められた日です。

今年度「子ども人権プロジェクト」の指定を受け、十一月九日（土）に県人権同和教育課の先生が、講話を実施しました。人権に関する気付きを高める問いがあり、子どもたちも先生方も「なるほど」とうなずきながら人権について深く考えることができました。どんな内容だったか、左のエピソードを参考に子ども達に質問してみてください。家庭で人権について考えるきっかけになり、優しい気持ちで醸成されることと思います。

エピソード①

一体どういうことでしょうか？

ある高層ビルのオフィスの一階にエレベーターが止まっています。朝の出勤時間で、エレベーターはほぼ満員です。そして、扉がしまる直前に、もう一人の人が乗ってきました。すると、「ピーー！」と重量オーバーのブザーが鳴り響きました。こういうときは、最後に乗った人が降りるのがマナーですが、その人はブザーが鳴り続けているにも関わらず、まったく知らん顔。まわりの人たちは、「朝で急いでるのに、なんて自分勝手な人だ！」とイライラ爆発寸前です。しかし、この人は自分勝手な人ではまったくくないのです。

エピソード②

短い物語を6つに切ってばらばらにしたカードがあります。元通りの意味が通じる文章に並べ直しましょう。()に順番を記入しましょう。

(1) A. 車いすの青年がいました。	() B. 道をたずねると、親切に教えてくれました。
() C. どうやら旅行者のようですが、道に迷ったのか地図を広げ、辺りを見回しました。	() D. 近くの病院から家に帰る途中のようです。
() E. 大きなカバンを持ったカップルが歩いていました。	(6) F. 青年は、二人にととても感謝しました。

また、講話では、「言葉は先鋭化する」、「リスペクトアザース」の言葉が紹介され、特に「リスペクトアザース」については、私たち教員もこれまでの自分自身を振り返ることができ、今後の教育活動に生かしていくきっかけになりました。

講話終了後には、子ども人権作文を映画化した動画を鑑賞しました。「なるほど！」と感じることができ、生徒も他者を尊敬することが、大切であることを感じたと思われまます。

法務省の人権啓発ビデオギャラリーを検索すると、子どもたちが視聴した「リスペクトアザース」の動画を見ることが出来ます。保護者の方もちょっとした時間に視聴してみてください。子どもの見方が変わってきます。

すっぴー朝日中の先輩

ラグビーワールドカップが開催され、大変盛り上がりました。日本全国でラグビー教室に入る子どもが増え、新規のチームも結成されるなど、ブームとなっています。本校でも、休み時間などにオールブラックスのハカを真似する生徒もおり、高校進学とともに、ラグビー部に入部する生徒も増えるのではと予想されます。

さて、校内の整理をしているときに、額縁に入った大きな写真をみつけました。全国ラグビー大会決勝（明治大学とリコー株式会社）でトライをしている瞬間の写真です。（栄和朗氏 寄贈）



トライしているのが、重田勇夫氏（元日本大学監督大熊出身）です。躍動的で、息のつまるような瞬間の写真です。職員室廊下に掲示してありますので、参観ついでにご覧ください。

県民週間に学習発表会が開催され、多くの参観ありがとうございました。保護者からの御意見です。

- ナカドゥチェスでの体験談とてもよかったです。聴く方々にとって内容がわかるような手立てがあったらと思った。一年生の劇、二年生の劇が台詞をみんなが覚えていてすばらしかった。昔懐かしの「金十丸」などその当時を思うことでした。僕が中学三年のときに奄美は日本に復帰しました。旗行列、提灯行列も参加しました。
- 平日だからか保護者が少なく残念でした。生徒さんは、舞台をきちんとみて参加していました。手が実際あがらず、高齢化について考えさせられた。縄跳びは、舞台上は危ないのかなと少し思った。背景などよくできていました。声が少しきこえづらい。朝日中はいろいろなタイプのお子さんが出てとても楽しい。最後の歌はとても素敵でした。
- 舞台発表の内容とても良かったです。感動しました。後ろの席だったので、少し早口なのか聞き取りにくいので、ゆっくり大きくだとバッチリです。
- 弁論大会各学年よかったです。1年生身近なことをテーマに体験を元に訴えるものがよく伝わってきた。2年生グローバルなそれぞれのテーマと自分の意見もいれての発表がすばらしかった。3年生、さすが、自分の将来や自分の考えを発表している姿はカッコよかったですよ。
- 三年生の歌と舞台しかみていませんが、みんなが活躍できる生演奏つきの舞台に驚き、感動しました。短い期間にすごいです。合唱もさすが代表、とても美しいハーモニーでした。展示もとても見応えがありました。校舎の中まですごいです。
- 義務教育9年間の集大成と期待しながら、今日は参観しました。期待通り、一人一人に華のある発表、作品でした。感動しました。ありがとうございました。
- 舞台は、元気があった。勉強や部活もある中、一生懸命頑張っているなと思いました。
- 毎年楽しみにしています。昨年と比べて2年生の成長がみられました。一生懸命練習や作品作りの光景が目につきました。3年生の劇は感動。本当に良かったです。
- 弁論などの個人発表も、学級毎の発表もすばらしくさすが中学生だなと思いました。内容も工夫されていたと思います。展示もそれぞれ努力の成果が現れていて、良かったです。
- 月末、月始めは避けてほしい。大変だと思いますが、土曜日はどうでしょうか。
- 時間に合わせてきたつもりが、終わっていて残念でした。(弁論) 開始時間はしっかり合わせて欲しいと思いました。
- 弁論、スピーチ、舞台とみんなが一生懸命で本当に感動しました。親も学ぶことが多く、とても勉強になりました。どうもありがとうございました。
- 1年生の発表とてもよかったです。発表後の歌も発表内容と合わせて聴くことで、改めて考えさせられました。
- 舞台での堂々とした発表に子ども達の成長を感じ、うれしく思いました。このまま、強くまっすぐ成長して行ってほしいです。
- 弁論大会の開始が早まったのか間に合わなく当て少し残念でした。
- 途中からの見学でしたが、すべてにおいてすばらしかったです。総合劇も声が大きくとても分かりやすかったです。来年がまた楽しみです。
- 午前の弁論の発表は皆さんの思いがよく伝わりました。しいて言えば、言葉が流れてしまうので、言葉がはっきり分からないことがあった。一年の舞台は、セリフや動作などよく練習されたのだと感心しました。奄美の歴史を調べることは、とても大切なこと、展示にもそれが現れていて、とてもよかったです。
- 弁論発表では、それぞれに思っていることを伝えていて感動しました。大人が忘れていたことを思い出させてくれる内容で考えさせられました。一年生は、先輩たちの「思い」を受け止めてほしいところもありました。保護者の参加が平日で少ないのがもったいないです。
- 奄美の日本復帰について初めて知ることができ、感動しました。セリフを間違えずに言えていることもすばらしく思いました。来年も楽しみです。
- モザイクアートすごくきれいでした。



12月行事（奄美群島日本復帰記念月間～25日）

1日（金）	上方ジョギングリレー大会	15日（日）	市民総ぐるみ清掃
3日（火）	第7回PTA役員会	18日（水）	愛護センター合同夜間補導
8日（日）	理系女子科学体験塾サテライト（本校開催）	24日（火）	終業式
12日（木）	朝のあいさつ運動 日本復帰弁論・英語暗唱大会	25日（水）	日本復帰のつどい
14日（土）	ロードレース大会、ゆらおう会（鳩浜公民館）	28日（土）	学校閉庁～1月3日